

Fostex

FULL RANGE SPEAKER UNIT



FE83En

このたびは当社製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。  
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みいただきまして、正しくご使用下さい。

FE-E シリーズは、ES コーンに新開発軽量布エッジを投入し、新たに『FE-En シリーズ』として生まれ変わりました。

繊維が細くしなやかで密度の高い ES コーンに、軽量布エッジを採用することで従来の明るく張りのある中高域はそのままに、よりナチュラルで繊細な音色になりました。

FE83En の最高域は、スーパーツイーター領域をカバーする 30kHz を実現。ナチュラルに伸びた周波数レスポンスは、小口径スピーカーユニットの可能性を無限に広がります。

FE83Enの主な特長

●中高域の滑らかさを実現する ES コーン採用

繊維が細くしなやかな密度の高い ES コーンを採用し、従来の FE に中高音域の伸びやかさと繊細さを実現。最高域はスーパーツイーター領域まで滑らかに伸びる、新形状のセンターキャップを採用。

●直径 60mm の強力フェライト磁気回路

バスレフ型からバックロード型まで幅広い用途に応える、直径 60mm の強力フェライト磁気回路を採用。サブウーハーとの併用で超小型密閉型エンクロージャーに収めたコンパクトシステムも可能。

●使いやすい性能

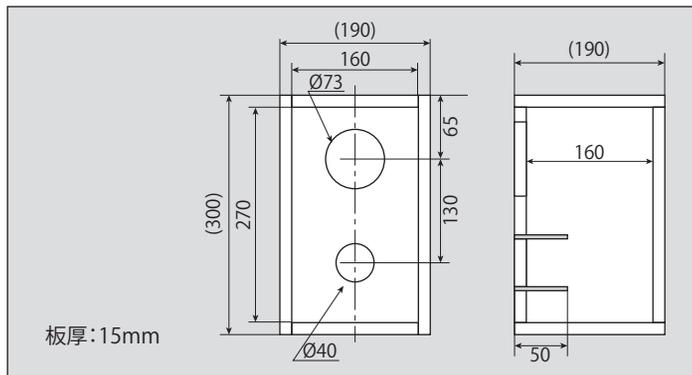
小型なバスレフからバックロードまで幅広いエンクロージャーに対応する、バランスのとれた  $Q_0$ 、 $M_0$  の値を実現。

●高能率で高耐入力、ワイドレンジ

ダイナミックレンジの広いソースにも余裕をもって対応できる、高い能率 / 入力を実現。次世代フォーマットにも対応するワイドレンジ設計。

標準バスレフ型エンクロージャー

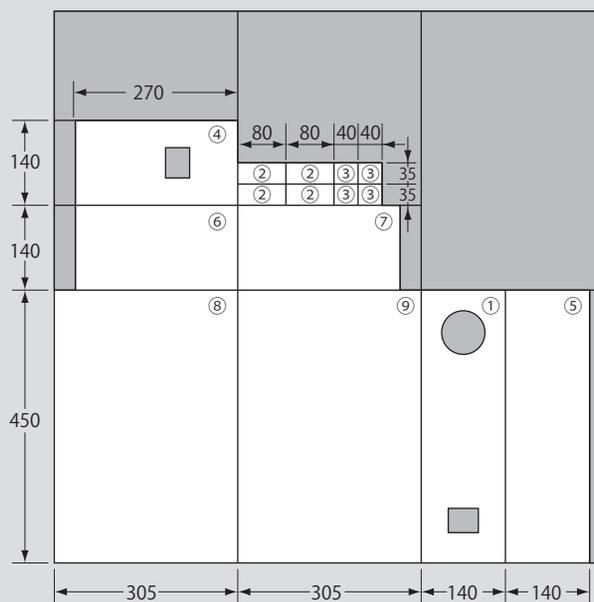
FE83En を標準のバスレフ型エンクロージャーに収めた例です。内容積は約 6 リッターとし、ダクトの  $f_b$  を 90Hz に設定しました。再生周波数の 100Hz 前後をやや高めに再生出来るように設定することにより、低音の量感を出します。小口径ならではの定位感の良さを生かし、幅広いジャンルのソースに対応する万能型小型スピーカーです。



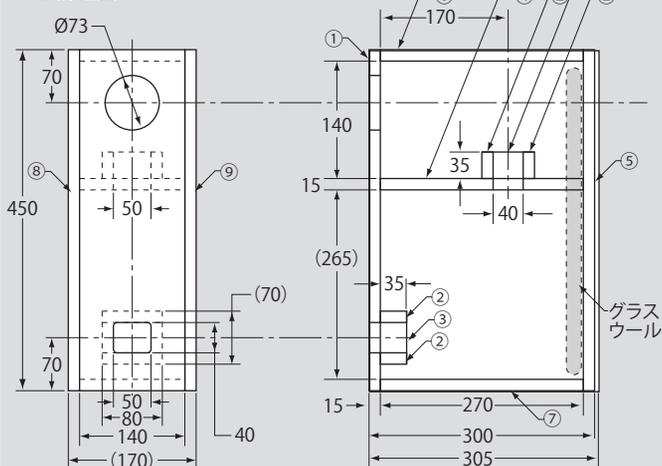
ダブルバスレフ型エンクロージャー

ダブルバスレフ型エンクロージャーの例です。ダブルバスレフのメリットを最大限生かし、小口径ながら力強い低音再生を狙います。形状は、使い勝手の良いスリムな形としました。第一ダクトの  $f_d$  を 127Hz、第 2 ダクトの  $f_d$  を 60Hz に設定し、FE83En の滑らかな中高域に力のある低音を加えた再生音は、口径を意識させないレンジの広いハイスピードなサウンドを楽しめます。

■板取図 (1台)

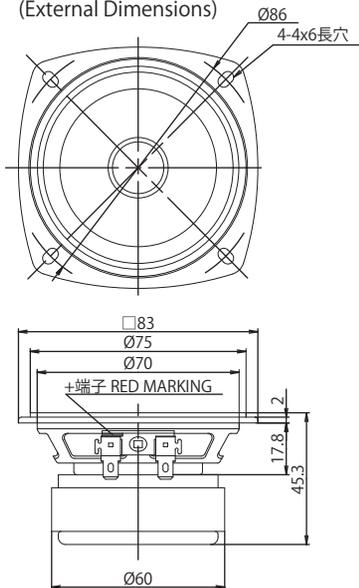


■構造図

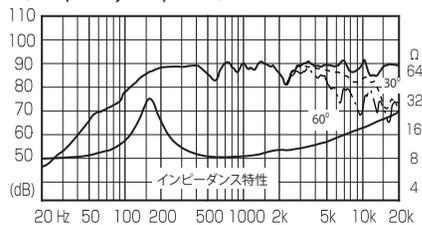


板厚: 15mm

■外形寸法  
(External Dimensions)



■周波数特性  
(Frequency Response)



■規格  
(Specifications)

- インピーダンス ..... 8 Ω
- 最低共振周波数 ..... 165 Hz
- 再生周波数帯域 ..... f<sub>0</sub>~30 kHz
- 出力音圧レベル ..... 88 dB/w(1m)
- 入力 ..... 7 W(Mus.)
- m<sub>0</sub> ..... 1.53 g
- Q<sub>0</sub> ..... 0.84
- 実効振動半径 (a) ..... 3.0 cm
- マグネット重量 ..... 140 g
- 総重量 ..... 0.35 kg
- 推奨エンクロージャ形式 ..... パスレフ型

安全上のご注意

ご使用前に、必ず本書「安全上のご注意」をよくお読みいただき、正しくご使用ください。  
本書は、お買い上げいただいたフォステクス製品を安全にご使用いただくために必要な「禁止事項」、「注意事項」、「強制事項」についてまとめて記載してあります。あなたや他の人々へ与える危害や財産などへの損害を未然に防止するため、本書に記載されている事項をお守りいただくものですので、大切に保管し、いつでもお読みいただける場所に置くようにしてください。

	△記号は、注意しなければならない内容(警告を含む)を示しています。具体的な注意内容は△の中や近くに絵や文章で示しています。左図の場合は「感電注意」を示しています。
	○記号は、禁止内容(してはならないこと)を示しています。具体的な禁止内容は○の中や近くに絵や文章で示しています。左図の場合は「分解禁止」を示しています。
	●記号は、強制内容(必ずすること)を示しています。具体的な強制内容は●の中や近くに絵や文章で示しています。左図の場合は「電源プラグをコンセントから抜く」を示しています。

警告



機器本体に直接水がかかる場所では使用しないでください。火災・感電の原因となります。特に屋外での使用(雨天、降雪時、海岸、水辺)にはご注意ください。



電源プラグを抜く

万一煙が出ている、変なおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本製品に接続しているアンプの電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

注意



接続注意

本機に他のオーディオ機器を接続する場合、接続する機器の取扱説明書をよく読み、必ず電源を切り説明に従って接続してください。また、接続するコードは指定されたものを使用してください。



禁止

油煙や湯気の当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



スピーカーやホーンを取り付ける場合、必ず付属のネジで確実に固定してください。落下によるけがや故障の原因となることがあります。



過大入力注意

過大入力を加えないでください。火災や故障の原因となることがあります。本製品の規格入力でご使用ください。



取扱説明書は必ず読み、注意事項および使用方法を厳守してください。安全性および性能を確保するために必要です。